

<令和5年度3学期 修了式>

皆さん、おはようございます。令和5年度も、いよいよ今日で最後の日となります。

さて、今日は、私が校長として、生徒の皆さんに対して、これまで式典等でどのような思いを込めて話をしてきたかということについて、まとめてお話しします。

まず第一に、本校の教育目標「鷺高の4C」について、繰り返しお話ししてきました。繰り返してきたのには理由があります。「鷺高の4C」は、とても良い教育目標だと心から思っているからです。「挑戦・協調・信頼・創造」の4Cは、現代の社会、先行き不透明でこれまでの常識が通用しない今の中を、たくましく生き伸びていくために欠かせない、大切な資質だと思います。あらためて、皆さんに意識してもらい、高校三年間の活動の中で「鷺高の4C」を身に付けて欲しいと思います。

第二に、「読書の大切さ」についてです。私の話の中では、毎回なるべく本を紹介してきました。本の一節を紹介することで、その時々私に皆さんに伝えたいことを託しました。一人でも多くの生徒に本を読んで欲しいという気持ちがあります。本は人生を豊かにしてくれます。一人の人間が生涯のうちに経験できることには限りがありますが、本を読むことで別人の人生を追体験できます。人生に彩りを与えてくれるとともに、人生の幅を広げ奥行きを深めてくれます。

そして第三に、「志」についてです。私の大好きな言葉の一つです。高い「志」をもつことの大切さをこれまでいろいろな機会に話してきました。広辞苑には、「志」の一番目の意味として、「心の向かうところ」と載っています。さらに「志す」の意味としては、「成し遂げようとする目標を心に決める」とあります。この漢字の由来は、上半分の「士」はもともと「之」の字だったそうで、意味は「行く」です。下半分は「心」ですね。つまり、「士（之）」と「心」を組み合わせ、心が行くところ、「心が突き動かされる場所」という意味です。

「志」は、自分の心の内側から湧き出す強い気持ち・目的なのです。他人に言われて何となく考えることでは決してありません。皆さんには、自分で考え、自分の心が向かうところの「志」を大切にしたいのです。

以上、私がこれまで皆さんに伝えたいと思っていたことをまとめました。

春は別れと出会いの季節と言われています。1年生の皆さんは、新年度より新しいクラスで鷺宮高校の生活が再スタートします。新しい人間関係に最初は戸惑うこともあるかもしれません。これまで築いた関係を大切にしつつ、新たな関係をたくさん作り、他者と「協調」し「信頼」関係を深め、より良いクラス、学校、社会を「創造」してください。そして2年生の皆さん、いよいよ鷺高生活の最終コーナーです。また、4月より皆さんは順次18歳となり、成人年齢を迎えます。高い志を掲げ、希望進路実現に向けて果敢に「挑戦」してください。「鷺高の4C」の実践を通じて、「信頼」される大人になってください。皆さんの活躍を期待しています。

以上で3学期修了式の私の話を終わります。